

PLAYBACK -AUTUMN-



1戦 0000010001 2戦 2000014007
00000020x2 0000000202

喜び合う選手たち

VS. 関学大 9/16-17

WIN

初戦は関学大エース・荒谷に封じ込まれ、0-3で完敗。負けられない2回戦で救世主となったのは中森(法4)だった。4点を追う7回に代打で打席に立つと、放った打球はスタンドへ。沈黙していた打線を呼び覚ます一撃となり、9回までと同点に追い付く。延長戦の末、最後は代打長尾(法4)の遊適時打で5-4のサヨナラ勝ち。二死を残す思いになった「長尾」。全員野球を体現した。激闘に終止符を打った。

投打かみ合い好発進

初戦では攻守ともに圧倒し、9-3の大差で快勝した。確実に白星を重ねたい2戦目だったが、初回から近年好相性の相手に先行を許す。打撃陣は動揺を隠せず、2イニング連続で三者凡退。しかし3回に堀内、齊藤(法1)の適時打などで4点を返し、逆転に成功した。

安心したのも束の間、7回に谷口(京大)に痛恨の勝ち越し打を浴びる。それでも、同志社打線は黙っていなかった。中島(スポ1)がチャンスで打席に立つと、ルーキーらしからぬたたずまいで強振。「4年生のために打つ」(中島)。強烈な打球は適時打となり、最終回に望みをつないだ。

同点で迎えた9回裏。2死満塁の絶好機で演野が魅せた。「自分がやるしかない」(演野)と放った打球は右翼手の頭上を越える。三塁走者の生還を確認し、喜びをあらわにした。「最高の形に結び付いた」(演野)。サヨナラ勝ちを決め、開幕4連勝を飾った。

4年生の活躍が光った開幕節。関学大に2連勝し、好スタートを切った。

初戦は先発・本田が序盤から力投を見せる。6回に先制を許すも、7回にチャースが訪れた。1死二塁から影山スポンズが訪れた。1死二塁の適時二塁打でゲームを振り出しに返す。さらに走者を三塁に置き、堀内(法4)が打席へ。本田に勝ちをつけた。執念が戦へ弾みをつけた。

逆転劇演じた

VS. 京大 9/13-14

1戦 01000230319 2戦 3000011005
00100010113 0040000116

笑顔の左・演野(法2)、右・太橋(経2)

舞台裏の英雄NO.9

最後までチームを支える

◆健井美穂 (ささい・みほ)
2003年4月8日生まれ。兵庫県立神戸高校出身。152センチ。商学部4年。

関西学生野球連盟での大会運営を主な業務としている。憧れ続けたマネジャーとしての入部を一度は断念したものの「野球に関わりたい」と競技への思いが再燃。仕事柄、野球部員と関わる機会は少ないが連盟委員としての責務を全うしている。

今年度からは主務の山川(社4)から打診があり、チームの団結力をより高めるためマネジャーも兼任。さらに連盟委員長としても力を尽くし、バックヤードから熱い戦況を見守っている。

◆藤田杏奈 (ふじた・あんな)
2003年7月14日生まれ。京都府・同志社高校出身。162センチ。スポーツ健康科学部4年。

選手の体づくりを目的としたランや体幹メニューの考案、けが人の応急処置が藤田の役割だ。競技者としてマネジャーに心身を助けられた高校時代をきっかけに、大学ではトレーナーとして個のスキルアップを陰で支えている。今夏は同期の投手陣に多くの時間を費やし、互いの結束を強めた。

「4年生が試合で輝いている瞬間に、一番やりがいを感じる。献身的な勝利の女神が、戦友たちの背中を押すに違いない。」

熱き右腕が完投勝利

VS. 関大 WIN

9/26・27・30

1戦 0000000000 2戦 01001100x3
000210100004 000000021115
000000022044 00000000011

完投した本田(商4)

春王者に完敗

14年ぶりの栄冠へ、勝ち越しを狙った対近大戦。「勝つという気持ちを持って準備できた」(坂)。昨季の覇者を倒し弾みをつけたいところだったが、描いた青写真はあっけなく破られた。

悪天候により1日遅れで行われた1戦目。初回に5連打で2点を奪い主導権を握る。しかし、先発の橋本裕が2回以降失点を重ねた。「力んでしまった」(橋本裕)。悪い流れを断ち切れず、痛恨の逆転負けを喫した。

何としても白星を挙げたいに持ち込みたい翌日は、試合を通じ打線が鳴りを潜める。奪われたリードを取り返すことができず悔しい完封負け。「思うような試合ができなかった」(竹川監督)。終始圧倒され、自力優勝の可能性が消滅した。

LOSE

VS. 近大 10/5-6

1戦 2000000002 2戦 03103000x7
01020002116 0000000000

試合後の選手たち

RITSUMEIKAN BASEBALL

立命大戦力分析

春季リーグ戦で2位となった立命大。今秋も白星街道を突き進み、このまま勝ち点4を積み上げていく。第2回対近大戦では、接戦の末サヨナラ勝利を飾り宿敵を打ち破った。

エース左腕・有馬や今季4勝を挙げている遠藤を軸に、藤を中心に投手陣がマウンドで躍動。さらに角井が対関学大2回戦でリーグ史上8人目となる3試合連続本塁打を記録した。長打力を魅了する岩間4番の星野と立命大の打線をけん引している。いかに得点を取っていかかがポイントだ。

感動をありがとうございました！
アトム硬式野球部より

同志社スポーツユニオン

体育会51クラブのOB・OGから組織されています

同志社スポーツユニオンは同志社アスリートを支援、応援致します！

<http://www.doshisha-su.com/>

○ウェブサイトを通じて同志社スポーツを応援しましょう！
○新年度 ウェブサポーター 募集中！

お申込み・お問い合わせ
〒610-0394 京田辺市多々良町5-13 同志社スポーツユニオン事務局
TEL: 0774-65-7418 FAX: 0774-65-7416
E-Mail: jt-1spor@mail.doshisha.ac.jp

同志社から一番近い 京田辺校地 教習所です！

※昭文社京都府地図より

オンライン学科実施中!!

自宅でスマートフォンで受講できます

山城田辺自動車学校

〒610-0322京都市京田辺市普賢寺中島4-9
TEL 0774-63-6600

トレーニング

※努力は裏切らない
※ハードワーク
※基礎の大切さ
※一貫団結
※モチベーション

必勝祈願

※全力応援
※共に戦う
※運命と闘争
※全員主役
※長年のライバル

伝統の一戦

オリジナルTシャツ制作
あらゆるスポーツシーンに対応

STAR FORM
06-6147-3037 / info@starform.jp

同志社校友会会

Doshisha Alumni Association

同志社校友会事務局 MAIL: info00@doshisha-alumni.org

卒業生と繋がる
学生と繋がる
学生を支える